

2025年度第5回臨時研究科教授会議事録

日 時	2026年2月18日（水） 14:25～15:37
場 所	本部棟 大会議室
出席者	出席者 19名（うち 委任状1名：佐々木教授） 欠席者 0名

【会議概要】

定足数	○研究科教授会規程第6条第1項の規定により成立
【審議】	
審議（1）	<p>2026年度大学院入学者選抜（第Ⅱ期募集）の合否判定について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
審議（2）	<p>2025年度3月博士前期課程修了判定について</p> <p>○大矢研究科長及び博士前期課程修了予定者の主査から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○博士前期課程修了予定者について、単位修得状況、研究調査又は修士論文審査結果及び評価報告書の審査結果を踏まえ、修了可とする旨の説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認された。</p>
審議（3）	<p>大学院科目担当に係る業績審査結果について</p> <p>※審査対象者の各教授はそれぞれの審議が終わるまで一時退室した。</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案どおり承認された。</p>
審議（4）	<p>長期履修申請について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認された。</p>
審議（5）	<p>大学院ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの変更について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき説明があった。</p>

	<p>○大矢研究科長から、博士後期課程のD P 3「高い倫理観に基づき、経営経済分野の高度な専門知識を生かして、現実社会が抱える諸問題に主体的に取り組む態度を身につけている」という部分の「現実社会」という表現については、研究の対象であって、「青森地域」あるいは「東北地方」あるいは「日本」「グローバル市場」という様々な意味を「現実社会」という言葉に落とし入れて、使っていくということ、私たちの社会が抱える経営や経済の課題、経営学、経済学的にみた問題もちろん、地域の課題も含めて現実社会という言葉を使っているとの説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認された。</p>
審議（6）	<p>青森公立大学大学院履修規程の一部改正について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案のとおり承認された。</p>
	<p>【報告】</p>
報告（1）	<p>財務委員会報告について</p>
報告（2）	<p>人事委員会報告について</p>
報告（3）	<p>理事会報告について</p>
報告（4）	<p>教育研究審議会報告について</p> <p>※同日開催の臨時学部教授会において報告済みのため省略。</p>
報告（5）	<p>2026年度春学期科目等履修生及び聴講生の募集について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき報告があった。</p>
報告（6）	<p>大学院シラバス様式の変更について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき報告があった。</p> <p>○足達教授から、在学生在がD Pが何かわかるように工夫するよう提案があった。</p>
報告（7）	<p>2025年度修了予定者の就職内定状況について</p> <p>○大矢研究科長から、資料に基づき報告があった。</p>
	<p>【その他】</p> <p>その他</p> <p>○大矢研究科長から、次回の研究科教授会について3月19日（木）に開催する旨の説明があった。</p>